

縦隔(3.0T)

コイル→Anterior coil

- ・体位→ヘッドファースト
- ・呼吸センサー (ECGモニター)

- ① SURVEY_BH
- ② T2W(cor)
- ③ BTFE FS RT(cor)
- ④ T2W (tra) BH
- ⑤ mDIXON_All_LowHigh(tra)
- ⑥ FS-T2W BH(tra)
- ⑦ DWI(tra) RT
- injection-
- ⑧ Dyn eTHRIVE Tra
- ⑨ pre
- ⑩ 40s
- ⑪ 70s
- ⑫ 100
- ⑬ 150s
- ⑭ eTH_BH(cor)

☆息止めでうまくいかない場合は
CINEでの撮像も考慮

ルート:右手 22G

外来→ガドピスト: 0.1ml/kg 生食30ml

病棟→ガドテリ: 0.2ml/k 生食30ml

② 病変部 (緑)

③ 病変部 (緑) 呼吸同期

④⑤⑥⑦ 病変部 (赤)

③④⑤⑥は全部息止めで

※③④⑤は息止めでダメな場合
に

呼吸同期か横隔膜同期

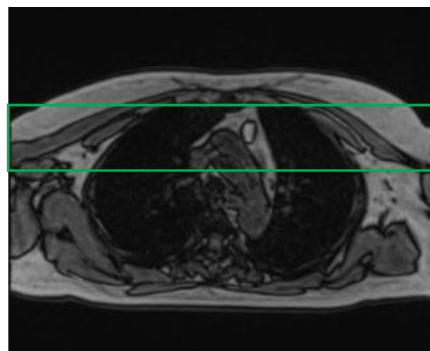
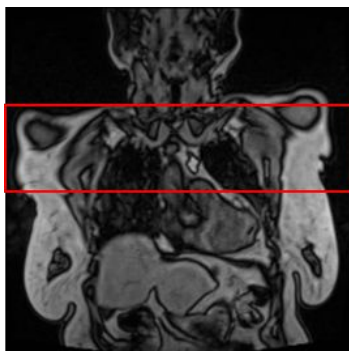
⑦ 呼吸同期

※場所によっては息止めではなく
心電図同期も考慮

-injection-

⑧⑨⑩⑪ ④⑤⑥と同じ

⑫ ③と同じ



乳腺(3.0T)

ルート: **非健側** 22G

外来→ガドビスト: 0.1ml/kg 生食30ml

病棟→ガドテリ: 0.2ml/kg 生食30ml

コイル→mamma coil

・体位→腹臥位、ヘッドファースト

乳房がコイル内に収まっているか、横からと前から確認する

Brest→ Brest Gd(+) <stop watch>new

①SmartBreast

②SURBEY

③Survey

④T2WFS TSE(Tra)

⑤T1W TSE(Tra)

⑥DWI b750-1500(Tra)

⑦T2WFS_TSE (sag)

⑧Dyn eTHRIVE TEST(Tra)

-injection-

⑨Dyn eTHRIVE pre(Tra)

⑩Dyn 60s

⑪Dyn 120s

⑫Dyn 360s

⑬Dyn 6.0m

⑭HR eTHRIVE(Sag)

①②③ Cor:左右の乳頭が同時に出てくるように合わせる。

Sag:乳頭と胸壁を結ぶ。(黄色線)
胸壁に垂直(黄色)

④⑤⑥ Sagで腋窩がかけないように枚数で調節。

胸壁に垂直

Sim:乳頭～心臓の半分まで(腋窩消さないようにする)

Sat:心臓(腋窩消さないようにする)

⑦ 腫瘍のある方を撮像。両方ある場合はRtとLt撮像。

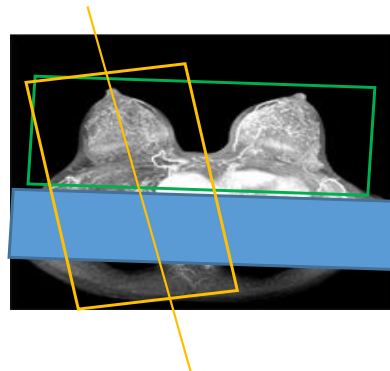
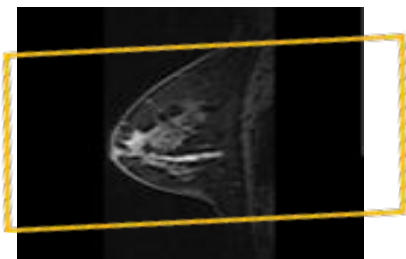
胸壁に平行(黄色)

シーケンスをコピーしてRt.とLt.の2つ準備する。

角度:乳頭と胸壁を結ぶ。(黄色線)

⑧ ④⑤⑥と同じ位置

脂肪が落ちているか確認!



造影

-Injection-

⑨ ④⑤⑥と同じ位置

k0の数字を確認する。

ストップウォッチをk0の時間に設定し、

preの撮像開始と同時にストップウォッチを起動させる。

k0の時間になったら造影剤を注入する。

Ex) K0=27sの時

60s-27s=33s

Preを撮像し始めて33s後に造影剤を注入する。

⑩⑪⑫⑬ ④⑤⑥と同じ位置

pre撮像してから連続で撮影が行われる。

⑭ ⑦と同じ

提出画像

・DWI: b0, invertのb750と1500, ADCマップ

・preと60sでサブトラクションする

ZIO処理

1. Dyn 120sのデータをZIOへ送信する。

2. MIPで開き、心臓を除去する。

3. MRCPのボタンで回す

縦 下回転 Fの状態で回す 12枚

横 左回転 Aの状態で回す 12枚

4. PACSへ送信する。

☆腫瘍がある場合、TICを作成する

Dynで一番染まっている相の上で右クリック→Basic T1 Perfusion

Basic T1 Perfusion

- 1.「Dyn eTHRIVE」を右クリック
- 2.PHILIPS「検査クイックリファレンス No.1」参照

画像上で右にスライドすると時相が変わる。

1番腫瘍の染まってる相で作成。

ROI

- mammary(正常乳腺)
- fat(脂肪)
- tumor(腫瘍)

ROIを描くとTICが自動で設定される。

